

予算要求資料

令和7年度3月補正予算

支出科目 款：商工費 項：商工費 目：工鉱業振興費

事業名【新】航空宇宙若手人材育成・確保支援事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 航空宇宙産業課 産業振興係 電話番号：058-272-1111 (内3763)

E-mail：c11354@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 8,021 千円 (現計予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財源内訳							
		国庫支出金	分担金負担金	使用料手数料	財産収入	寄附金	その他	県債	一般財源
現計予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補正要求額	8,021	3,878	0	0	0	0	0	0	4,143
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

本県は、航空機の開発・製造を担う関連企業が集まり、国内トップレベルの航空宇宙産業の集積地となっている。

航空宇宙産業はコロナ禍の影響から回復し、今後市場が大きく成長すると予測され、さらなる国際競争の激化が予想されている。一方で、高校生をはじめ若手人材が近隣県へ流出し、新たな担い手の確保が充分でない状況に直面している。

特に航空宇宙産業では、他の製造業と比べて若手人材の確保に苦勞しており、産業の競争力を高める上でより優れた産業人材の育成と合わせて、県内企業が人材を十分に確保できるように当該産業の魅力発信が必要である。

(2) 事業内容

【①若手人材を確保する事業】

○航空宇宙産業セミナー／バスツアー(高校生向け、保護者向け)

県内の教育機関や航空宇宙関連企業等と連携し、県内高校生やその保護者に航空宇宙産業の最新の動向を紹介するとともに、就業現場を見学する機会を提供し、本産業の将来性の理解促進と就職意欲の喚起を図る。

○高校生向け出前講座

県内高校生に対し、航空機業界の歴史や魅力を発信する出前講座を実施。

○魅力発信冊子の更新

航空宇宙産業の魅力・現状・将来の展望等を、業界・企業情報や先輩若手就業者へのインタビュー等により効果的に説明する冊子の内容を更新し、県内高校生へ配布。

○インターンシップ受け入れ企業の推薦

県内のインターンシップ受け入れ企業を集約したリストを作成し県内高校に配布。

【②若手人材を育成する事業】

○モノづくり教育プラザを活用した若手人材育成

- ・航空機製造技術体験研修（2日間×2回）
県内高校生を対象に、航空機製造技術の体験研修を実施
- ・航空宇宙産業CAD/CAM/CAE体験研修（2日間×2回）
県内高校生を対象に、航空機設計技術の体験研修を実施
- ・航空機製造工程実習
航空機製造の一連の工程（設計から組立まで）を学ぶ実習を実施

（3）県負担・補助率の考え方

「岐阜県経済・雇用再生戦略」において、成長産業である航空宇宙産業の重点的支援を掲げており、県として将来の航空機産業を担う技術者・技能者の育成・確保の取組を推進する。また、航空宇宙産業では特に高い技術力・品質保証能力を持つ優れた人材が求められるため、その現場を学ぶ重要な機会を提供する。

（4）類似事業の有無

なし

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	108	講師謝金
旅費	141	業務旅費
消耗品費	1,447	実習用材料、受講生用安全具
印刷製本費	450	冊子更新・増刷
保険料	15	バスツアー保険料
委託料	5,860	バス運行委託、セミナー委託
合計	8,021	

決定額の考え方

4 参考事項

（1）各種計画での位置づけ

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略
3 地域にあふれる魅力と活力づくり
(2)次世代を見据えた産業の振興
①産業を支える人材の育成・確保
- ・岐阜県経済・雇用再生戦略
3 人材確保・雇用対策プロジェクト
次世代産業の創出やDXの推進等を担う人材の育成・確保
(1)成長産業等における人材育成・確保

（2）後年度の財政負担

県内高校生を対象とした人材育成・確保に向けた取組は、持続的に支援することが必要。

（3）事業主体及びその妥当性

県内航空宇宙産業への就職意欲を向上する事業であり、県が主体となることは妥当。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

○県内高校生をはじめとした、将来の成長産業・モノづくり産業を担う若手人材やその保護者に対し、航空宇宙産業の魅力を伝えることで県内航空宇宙関連企業への就職意欲を喚起させ、就業者の増加を図る。

○航空宇宙産業への就職を希望する高校生の技術・技能の質的向上を図り、県内航空機製造関連企業が望む人材を輩出する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R7)	R8年度 目標	R9年度 目標	R10年度 目標	終期目標 (R10)	達成率
①人材確保に向けたセミナー等に参加した人数 【累計】	-	700	1,400	2,100	2,800	-
②人材育成者数 【累計】	-	42	84	126	168	-

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

指標①	目標： 実績： 達成率： %
指標②	目標： 実績： 達成率： %
指標①	目標： 実績： 達成率： %
指標②	目標： 実績： 達成率： %
指標①	目標： 実績： 達成率： %
指標②	目標： 実績： 達成率： %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない

(評価)

・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3 : 期待以上の成果あり
2 : 期待どおりの成果あり
1 : 期待どおりの成果が得られていない
0 : ほとんど成果が得られていない

(評価)

・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている

(評価)

(今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項

- 航空宇宙関連企業の業績はコロナ禍の影響から回復したが人手不足が顕著であり、県内高校生やその保護者に対し航空宇宙産業の魅力を伝え、認知度を向上させることで、航空宇宙産業への理解を促進し、県内航空宇宙関連企業への人材を確保する必要がある。
- 航空宇宙産業界のニーズに合致した人材を輩出できる施策を講じる必要がある。

(次年度の方向性)

・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

○航空宇宙関連企業の人材確保のためには、より多くの県内高校生や、さらには保護者に対しても航空機製造の興味や関心を得ることが必要である。本事業を持続的に実施することで就業した先輩からの推薦や安心感の醸成などプラスのスパイラル効果が見込める。

○航空宇宙産業界のニーズを踏まえ、岐阜工業高校を航空宇宙産業教育の中核拠点として、県内企業や高校関係者等と連携し、人材育成プログラムの充実と施設の効果的な活用を検討する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント
又は事業名及び所管課

【〇〇課】

組み合わせて実施する理由
や期待する効果 など